

# 東浦町タウンミーティング 開催記録

## 1. 開催概要

第6次東浦町総合計画の策定経過や概要、パブリックコメントの実施等を広く周知するとともに、質疑応答等での意見交換を通し、今後のまちづくりへの理解を深めることを目的とし、各6地区で述べ112名の方が来場された。

地区	日時		場所	参加者数
緒川	7月21日 (土)	10:00~11:30	緒川コミュニティセンター	19
緒川新田		13:30~15:00	卯ノ里コミュニティセンター	29
生路	7月22日 (日)	10:00~11:30	生路コミュニティセンター	9
石浜		13:30~15:00	石浜コミュニティセンター	20
藤江	7月29日 (日)	10:00~11:30	藤江コミュニティセンター	15
森岡		13:30~15:00	森岡コミュニティセンター	20

## 2. 意見等の概要

配布資料「第6次東浦町総合計画（案）について」の説明後、質疑応答を実施。

### 【基本構想について】

地区	意見等の概要	回答
緒川	人口減少社会、少子高齢化という言葉に捉われすぎてはいけない。住民基本台帳と国勢調査の人口の差の数千人の違いにそれほど意味があるのか。正確な実態を把握し、確定値に基づいて人口構成等を分析することが重要ではないか。	実態を把握する調査として国勢調査が5年に一度ある。将来の人口の見込みについては国勢調査の確定値に基づいた推計となっている。
緒川	町として毎年確定値を把握することはできないのか。	国勢調査の人口からその後の移動を加味した推計を愛知県が出している。
緒川	人口減少、少子高齢化については、国や県の傾向と東浦町の実態とかなり離れているのではないのか。	日本全体では人口減少が深刻である。全国的な傾向ほど急ではないが、東浦町でも子どもは減り、高齢者が増えていく。今後は少数の労働人口で高齢者を支えていかなければならない。人口の減少は避けられないため、交流人口・関係人口を増やす試みも出てきている。
緒川	第5次総合計画の将来の都市像にある53,000人という数字は住民基本台帳ベースか。	第5次総合計画も、今回も国勢調査をベースにしている。平成27年国勢調査で減少となった。
緒川	人口減少により前倒して計画の見直しをするということだが、人口減少に対して何をしようとしているのか。繋がっているのか。実効性が少なく思える。住民の生活改善にどのように繋がるのか。	実効性が伴うものになるよう住民主体のまちづくりをベースに計画の策定に向けて進めていきたいと考えている。

地区	意見等の概要	回答
緒川	計画の最終年度の人口フレームが無いが、2040年に43,000人でいくのか。20年間にわたって施策を行っていくにあたって希望の数字を出してはどうか。人口減少を緩やかにする施策に重点的に取り組んで欲しい。	2038年に44,000人を推計人口としており、希望出生率1.8を想定している。重点を置くポイントを考えなければならないが、必ず人口が伸びる施策を示すことは難しい。現状の問題点を整理し、個別の施策を進めていきたい。
緒川	人口減少が話題になっているが、女性が大事にされないといけないのではないのか。なぜ女性がタウンミーティングに出ていないのか。女性が大事にされると人口は増えない。女性議員が多いところは人口が増えていると思う。	女性の活躍は重要である。現在、東浦町の議員に占める女性の割合は全国でも上位になるほど高い。女性の枠を決める法律はない。
緒川	「幸せと絆を実感できるまち」とは？の中に、暮らしの利便性・快適性を向上させる交通網の整理とあるが、東浦町にも買い物難民がいる。うらはは1時間に1本程度の状況の中、自転車にも乗れない、長く歩けないとなれば生活できない。後期高齢者は車の免許証の更新が厳しくなる。将来の生活に対する不安がある。高齢者の運転による交通事故のニュースもある。交通網についての計画を教えて欲しい。	計画については、地域公共交通網形成計画がある。先日、うららのダイヤ改正に向け住民へのグループインタビューを行った。意見を集約し、利便性の向上に取り組んでいる。費用面も考慮しながら、少しでも利便性が向上するよう検討している。また、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりについても進めている。インターネットによる買い物の利用促進など様々な面から補っていきたい。高齢者の事故については、免許証の自主返納についてうららの回数券やタクシーチケットを渡している。
緒川新田	東浦町に入ってくる人口と出ていく人口の傾向を示してもらえると良いと思う。人口減少とは自然増減のことか、社会増減のことか。	社会増減で考えている。自然増減は合計特殊出生率による。第5次総合計画でも社会増による人口増を想定していた。
緒川新田	第5次総合計画で人口が増えると想定していたがそうではなかった。第6次総合計画は20年の計画期間で、5,000人減るといのは大きな変化である。10年でも大きな変化があったのに次の計画を20年にするというのはどのような考えか。	基本構想の20年という設定は高齢者の増加と人口減少が20年続くということを見込んでいた。基本構想を踏まえた具体的な基本計画については、第5次総合計画の10年間から5年間にし、より短い間隔で対応できるようにしている。
緒川新田	「誰もがイメージできる総合計画」というのは、どの項目が該当するのか。絆というのはテーマである。具体的な方向性がどれかわからない。	本日の資料においては具体的な施策については示していない。ホームページに審議会資料として案を掲載している。部門別計画にて分野ごとに住民、事業者、行政の役割を示した内容となっている。第3回審議会の資料「部門別計画」を参照いただきたい。
生路	少子高齢化という大きな流れがあるが、東浦町の人口がどの程度になるか、推計や目標は設定されているのか。	2038年において国立社会保障・人口問題研究所の推計では44,000人としているが、町としては様々な施策により45,000人になると推計している。

地区	意見等の概要	回答
生路	第5次総合計画のときには将来人口を目標として進めていたと思うが、今回も人口が大元となって政策が進んでいると考えていいのか。	目標人口としては考えていないが、人口が減少していく中で世代の構成を考慮したうえで対応を考えていく。人口を増やしていくことが目標ではないと考えており、人口が減っても維持できるまちになるような計画にしていきたい。
生路	少子高齢化は一般の人にもわかり易いと思うが、人口を増やすことを考えないのは夢がないのではないのか。	第5次総合計画の将来人口 53,000 人は、その当時の国勢調査の数字から推計された人口に宅地開発の計画等を加味した数値だった。その後の国勢調査において人口が減少に転じた。高齢者の割合が高くなってきたことについて、第5次総合計画の施策では対応できないことから見直しをすることになった。第6次総合計画では人口が減少していく中でも対応できる計画を立てる必要がある。そのため、土地利用を含めて見直しを行っている。
生路	第6次総合計画は地域の活性化・産業振興・基盤整備を謳っている。石浜の豊田自動織機の土地が雑草地のようになっている。企業誘致のための土地だが実際に工場が建っていない、そうした土地に企業誘致をすれば周囲に家が建てられ、人口も増えるのではないのか。	土地利用については、蛇子連の交差点の辺りを工業系として利用することを考えている。石浜の土地は豊田自動織機のものなので町として何かすることはできないものの、豊田自動織機への要望はしている。今後は、一帯での工業の土地利用を考えることによって関連企業の進出ができるような位置づけを考えていきたい。
生路	何年か工場を作らないと権利が変わるようなことはないのか。	そのようなことはない。できるだけ早く工場の利用をして欲しいという要望はしている。
生路	第6次総合計画で目指す姿の根底には自分ごととしてみんながまちづくりをするという理想があると思う。また、行政が今までやっていたことも協働という形でまちづくりが進みつつあると思うが、こうした中で地域福祉やコミュニティスクールなど地域の方の力を借りる面がふえると思う。自分事として捉えてもらうにあたっては、これまでそうしたことをできていなかった人はやり方がわからないと思うので、自分事として捉えてもらえるような取組を行政がしてもらおうと良いと思う。	○住民が自分事として捉えるためにどうすれば良いかをはっきり示すのは難しく、意識改革は行政だけでできるものではないと考える。コミュニティの活動も限られた人でやっているのが現実であり、行政が主体となるのは難しく、一緒に考えていくべきことだと思う。 ○昔ながらの支え合いが今は無くなっており、新たな支え合う仕組みができてくれば良いと思う。お隣のお年寄りのために買い物を助けるなど、地区の居場所づくりは人のつながりができる。包括ケアシステムなど、みんな事を自分事として捉えられることにより、周囲の人とのつながりを深めていくことが重要である。行政としては住民が考えてやっていることの後押しをすることで、住民の方がいろいろなことができるようにしていきたい。
生路	行政が主体でやって欲しいということではなく、自分事として捉えるにあたりやり方が分か	教育でも、新指導要領で社会に開かれた教育が謳われている。ごみについて小学4年生で学習

地区	意見等の概要	回答
	<p>らない人にきっかけを示すことに行政が関わって欲しい。ここ10年で協働や自治の意識が変わっているのを感じている。</p>	<p>するが、自分たちの環境を自分たちで良くしていくという意識を醸成するものである。学校も社会や地域と一体化していくことが求められており、認知症サポーター講座もすべての小中学校でやっている。そうした取組を学校で進めていくことも子どもたちに自分ごととして捉えられる機会を与えている。</p> <p>若者会議という取組をしており、集まった若者に町の課題を示して若者が考える場を提供している。こうした取組により、若者がまちづくりに参画できる仕組みを考えている。地域でもこのように若者が参画できる仕組みがあると良いと思う。</p>
<p>生路</p>	<p>資料に「人口減少・少子高齢社会では祭礼・イベントなどの縮小」とあるが、対応についての具体的なイメージはあるのか。</p>	<p>世代別の構成ではなく地域の担い手不足について課題として挙げている。</p>
<p>生路</p>	<p>世代別の構成推計があり、それに対する対応が「住民・事業者・行政が主体となる」とあるが祭礼・イベントが基本計画につながるのか腑に落ちない。</p>	<p>コミュニティでの主体的な取組は祭礼やイベントよりも課題解決をイメージしている。</p>
<p>石浜</p>	<p>「人口減少社会・少子高齢化社会」と「住民がいきいきと暮らせる社会」の整合性を考える必要がある。後期高齢者でも元気な人もおり、そうした人が活躍できる場を積極的に増やす取組が必要ではないか。社会の中で子どもが学べるような取組や、東浦町の特性として外国人の居住が多いが、グローバル社会では活発に人が移動する。特性を生かした取組はないのか。</p>	<p>例えばこんな取組はどうかというようなアイデアがあれば伺いたい。</p>
<p>石浜</p>	<p>第6次総合計画の人口問題研究所の数値では、生産年齢人口の激減が問題である。前倒して計画を作る理由は人口減少とのことだが、年齢構成では生産年齢人口が激減しており、財源確保が問題になる。また、計画を前倒しているが、財源確保への対策が分からない。第6次総合計画で20年の計画を作ることにする理由を明らかにしないといけない。税収の減少と歳出の増大が問題となる。</p>	<p>第5次総合計画では人口増加を見込んでいたが、平成27年の国勢調査で人口が減少した。人口増加傾向を見込んでいた施策は人口減少していく中では合わないため第6次総合計画に向けて見直しをしている。第6次総合計画では45,000人を推定している中で、土地利用についても併せて考えていくものとしている。人口が少なくなる中で持続可能なまちを作っていくことが大切で、企業誘致、雇用の創出、住宅の需要も考えていきたい。</p>
<p>石浜</p>	<p>第6次総合計画の人口の基準値を確認したい。第5次総合計画の見込みが実際より大きかった</p>	<p>数値は確認しながら進めていきたい。</p>

地区	意見等の概要	回答
	原因は何かを把握しないと、20年後に同じ違いが出てくるので、数値的にとらえて取り組んで欲しい。	
石浜	第5次総合計画の人口推計と実態に誤差があったところの原因について、推計値は人口問題研究所が出している数値なので検証できないのではないか。	人口問題研究所の数値を基にしているが、53,000人に届かなかった理由は検討をしている。
藤江	前回の総合計画策定時も全国的に見れば人口減少社会にあったと思うが、東浦町では、人口増の計画が策定された。なぜそのようなことになったのか。今回は、どのような見通しをしているのか。現状維持していくためには、人口を増やさなければならないと思うが、具体的にはどのように考えているのか。	平成12年、平成17年の国勢調査では、人口増であった。そのデータをもとに推計されたので、人口は微増と推計された。今回は、厳しい数字を見込みつつ、現状・方向性がずれてきた時点で施策の方向性を見直しながら進めていきたい。日本全国で人口が減少する中、東浦町だけ増加するのは難しい。人口維持も難しいと思うが、今後、引き続き企業誘致を行い、働く場づくり、働く人の住環境づくりを進めることで、人口維持を図りたい。
藤江	企業誘致には、土地利用計画が大切になるが、すでに土地利用の計画はされているのか。定住用の土地も必要になると思う。市街化調整区域を市街化区域にするのか。	今回の総合計画でも土地利用計画を示している。面的整備だけでは、企業誘致は難しいので、都市計画道路の整備もあわせて考えていきたい。全く新しい所に市街地を形成するのではなく、既成市街地に隣接するかたちで、新たな住環境の整備を進める。例えば、森岡と緒川の市街地が途切れているところを利用したり、緒川新田地区で県が整備予定の都市計画道路整備にあわせた住環境づくりを進めたりしたいと考えている。
藤江	コンパクトなまちづくりで、現在の市街地で歩いて暮らせるまちづくりをする地区計画を進めるような話もあったと思うがどうなったのか。	JR4駅、名鉄八幡新田駅、巽ヶ丘駅の半径800m以内の市街化区域に集積するかたちでコンパクトなまちづくりを進めている。
藤江	人口減少に対する対策として、企業誘致だけでなく、他の市町村から東浦町に住んでもらえるような取組が必要ではないか。空き家の活用を町が斡旋している自治体もある。東浦町についてHP等でアピールして定住人口を増やす等、いかに生産年齢人口を増やすか。東浦町の産業として介護に力を入れ、雇用を生み出してはどうか。「介護なら東浦」と、家族皆で東浦町に住もうと思えるようなまちづくりを進めるといいのではないか。計画が、絵に描いた餅にならないように、メリット、デメリットをマトリッ	何にポイントをおいて、優先順位をつけるかをよく考えて計画に示す必要があると考えている。空き家については、方向性を検討中である（東浦町ではまとまった空き家は少ない）。生産年齢人口を増やすため、企業を誘致し、雇用の場を確保するとともに、今、住んでいる人が住み続けたいと思えるまちづくりが必要だと考えている。

地区	意見等の概要	回答
	クスでまとめ、優先順位をつけて、まちづくりを進めるとよいと思う。	
藤江	自分たちのことは自分たちでという話も分かるが、人の確保が難しい。他の団体でも同じことだと思う。活動のできる人を集められる、参加しやすくなるような仕組みを町に支援してもらいたい。	まちづくりの担い手が、決まった人での運営になっている。他の地区でも課題になっている。皆さんと一緒に知恵をしばって考えていきたい。緒川では、「がんばっている人が幸せを感じるまちにしたい」という意見があった。各世代がまちづくりに参画できるように考えていかなければならない。昨年度、計画策定にあたり「若者会議」を行った。今年度も町の課題に対して若者が考える機会として「若者会議」を行う。町全体だけでなく、各地区でも「若者会議」ができるとういかもしれない。
藤江	地域の人たちの繋がりがつくりにくい時代になってきている。今回のタウンミーティング参加について、高齢者教室やPTA等にも声をかけたが、参加者が少ない。自主的な参加が少ない土地柄である。ひっぱり出す努力はしているが難しい。子どもの頃から地域の消防団やお祭りに触れ「地域を愛する、地域に貢献する」意識を育むとよいのではないか。	新たな教育指導要領では、社会に開かれた教育課程を進めようとしている。地域行事に子どもが参加できるなど、地域とともに学校教育の取組について考え、東浦町にあったコミュニティスクールにしていきたい。地域とともに価値観を共有することは、勉強だけでなく、社会人になる教育として大切なことだと考えている。
森岡	少子高齢化のことが一番頭に残った。AIの時代、高齢者でも仕事ができる時代、外国人の増加など、社会の変化をどのように捉えて計画づくりをしているか。	総合計画審議会でも技術革新を取り込むべきという意見をいただいている。基本構想は長期の方向性を示すものとなるが、基本計画、実施計画では時代の変化に応じて現状にあった計画としたい。
森岡	第5次総合計画と第6次総合計画で、どう変えたか。	第6次総合計画では、住民・事業者・行政が主体となって取組が進められるよう、それぞれの役割を明確にしている。
森岡	地域を担う人材の不足が深刻になっている。地域の一部の人に負担がかかるのではなく、住民全員が協力できるようにするにはどうすればよいかを考えていきたい。「楽しい」「やってよかった」と思えるようにしたい。	全地区で共通の課題になっている。行政も一緒になって考えていきたい。

【基本計画について】

地区	意見等の概要	回答
緒川	暮らしを守るといいつつ、実際には住宅地に隣接して太陽光発電が設置されている。このような現状に対しどう考えているのか。	太陽光発電をどこに作っても良いとは思わないが、町に許認可権限は無い。県や経済産業省が権限を持っている。陳情もあり面談はしており事情は認識している。土地の利用権の問題もある。現状の法律では話し合いによる譲り合いしかない。付随して起こる影響については指導できることもあるので注力している。 条例を作ることもについても検討したが、上位法、憲法に触れるおそれがある。要綱に住民説明会や協定を結ぶことを求める内容を入れて対応している。
緒川	交流人口は減っていると感じる。氏子を行う人、お祭りの世話人など担い手も減っている。まちづくりをしている人が幸せを感じるためにはどうしたら良いかを示して欲しい。東浦町全体のお祭りを活用し東浦町が栄えて欲しい。	すべての住民が幸せを感じなければいけない。コミュニティを中心に、担い手のすそ野を広げていく方法を考えている。負担が大きいことは認識している。町もコミュニティと一緒に考え、取り組んでいきたい。
緒川	海外では妊娠した女性を優遇しており日本と全く違う。今後どうするかを示して欲しい。	法的な整備と個人の意識改革が必要になる。今は若い世代で女性が活躍している。女性を大切にするためには男性の長時間労働を是正する取組も必要。地域においても女性の意識啓発が必要だと思う。男女共同参画プランに基づき取組を進めている。
緒川新田	人口減少・高齢化で東浦町はどうかということについて多様なデータを分析し、今後の動向を推測することをベースとした基本計画として欲しい。一般論でなく東浦町独自の現状分析が必要である。	審議会でも同様の意見は頂いている。行政としてデータは多く持っているが、分析に弱い部分はある。今後、うまく活用・分析しながら進めていきたい。データについては公開し、住民のみなさんにも活用していただけるようにしたい。
緒川新田	東浦町の少子高齢化は既に進行している。現在行っていることは何か。	現在は第5次総合計画に基づいた施策を行っている。第5次総合計画の5つの施策の柱により健康づくり、子育て支援、学校教育などに取り組んでいる。第6次総合計画については5つの施策の柱により第1期の5年間進めていく。基本構想は20年後の姿を見据えている。4期に分けた基本計画で進める。
緒川新田	東浦町の環境を守るためメガソーラーの問題に関わっているが、自然を守る仕組みが十分ではないのではないかと感じる。自然を守り、住民の生活を守る条例を作って欲しい。周囲の自治体が自然を守る厳しい条例を作っていたら、東	総合計画の審議会においても環境問題についての指摘がされている。仕組みづくりが課題となるため、住民のみなさんからアイデアをいただきたいと思う。

地区	意見等の概要	回答
	浦に来てしまうのではないかと。	
緒川新田	東京、大阪、名古屋圏は人口が増えているが周辺の田舎は人口が減っている。都会は便利だから人が集まる。東浦町に人が集まらないのは女性に人気がないのではないかと。教育・子育て等の面で東海市は女性に人気がある。口コミでそうしたことが広まって人が集まっているのではないかと。東浦町にいるメリットを今後考えて欲しい。財源は厳しいと思うが、女性の意見を取り入れて考えて欲しい。	東浦町も同時入所は保育料無料、医療費無料など、子育て支援には力を入れてきた。しかし、それが母親同士に浸透しているかについては周知が不足している部分もあると思う。情報発信を大事にしていきたい。
緒川新田	子育て支援について、同時入所無料というのは限られた人への支援に感じる。それを支援として捉えられない。医療費も無料ではなく少しは払っても良いと思う。近い年齢でたくさん産んだ方が得になる仕組みとなっているが、様々な事情で難しい家庭もある。全体的に保育料を下げてもらった方が子育て支援になるのではないかと。	同時入所無料については今年度から見直ししている。これまで子育て支援という親への支援をしていたが、子どもの目線で「子ども支援」を今後は進めていきたいと考えている。保育園に通っていない人が不利にならないようにサービスを考えることが課題と感じている。
生路	東浦町は子育て日本一を掲げていたこともあり、住みやすいまちだと言われる。緒川小学校がオープンスクールになり、そこで学ばせるために転居してきたという話を聞いたりもする。住宅が安く環境や教育が良いというのも転入の条件になると思うが、特色ある学校づくりにおいては、学習指導要領の縛りを受けるものの、東浦町として学習指導要領の限界まで特色を出せるようにして魅力にできないかと。英語、理科教育に力を入れるなど。同じような教育よりも特色ある教育に親は魅力を感じると思う。	子どもたちが夢を持てるような教育をしたい。AI やプログラミング教育など情報教育もあり学校の現場は多忙であり、東浦町としてさらに要素を盛り込むのは難しい面がある。一方で、地域と一体で教育が進められているのが東浦町の強みとなっている。文科省がコミュニティスクールを推進しており、東浦町のコミュニティスクールを地域と一体でそれぞれの学校の特色を出し、主体的にやれるとよいと思う。具体的に何か看板を掲げるのは難しい状況ではあるが、審議会でも意見をもらっているので改めて検討したい。なお、生きる力を育む教育はすでに浸透していると思う。このあたりの自治体は特色がないところが多いが、東浦町はバランスがとれて住みやすいまちである。里山もあり、そこを上手く訴求することが大切である。待機児童の話が注目されがちだが学齢期の教育も重要であり、そこに特色を出すのは大事だと考えている。文科省からの要求が多く先生は多忙だが、その中でも特色を出すことは考えていきたい。石浜西小学校は外国人が多く、国際教育のモデルになれるような環境である。単に英語を学ぶより異文化交流ができるような、地域と一緒に多文化共生の人材を作るためコミュニティスクールも有効だと思う。



地区	意見等の概要	回答
生路	子育て世代の若者や勤労世代も主体的に地域に入ることを求められていると思うが、どこまで入れるか実現性に疑問がある。企業と協働して協定などを結ぶのは良いと思う。地域から担い手を引っ張ってくるのは非常に難しい。	若者世代をどう取り込むかは課題であり、総合計画審議会でも、これまでは仕事が忙しくまちづくりに関われなかったが、余裕ができたので関われるようになったという方もいる。行政としても取組方は各施策において考えなければならない。地域の住民の方と一緒に考えていきたい。  担い手不足は地域の課題でもある。なお、まちづくりに関わっている人が幸せを感じられるようにして欲しいという意見が緒川地区であった。
石浜	○主要施策に多文化共生や外国人対策が分かるものを入れて欲しい。 ○情報発信が大事である。二世帯、三世帯の世帯では高齢世帯が参加しても次の世帯が参加していない。コミュニティに気兼ねなく参加できるようにして欲しい。ラインやフェイスブックなどの活用も検討するなど、参加する人が固定化しないように、施策として文面にして欲しい。	情報伝達について、広報が配布されていなかったところが配布されるようになるなどコミュニティの力で少しずつ解決されているのを感じている。
石浜	東浦町には海外留学や海外の大学に進学した人たちも多くおり、英語教室や英語で紙芝居をやりたいという相談もあるが、地元の人たちは離れていく傾向がみられ、スキルを持っていても活動しようとするのが阻害されてしまう。こうした人材を大事にしたいので、上手く支援をして欲しい。	巻き込まれるという感覚があるのは、負担が大きくなることを嫌っているのか、ほかにも原因があるのか探っていかなければならない。一緒に知恵を出してやっていきたい。
石浜	石浜のコミュニティまつりでブラジル人の人がブースを出したことがある。翌年ブースを開けたが、誰も来なかった。外国人はいついなくなるか分からない面がある。外国人の意見を聞いて施策を考えるとよい。	外国人の方が日々生活するうえでどう感じているかを知る必要はある。外国人は仕事に影響されて住む場所が変わることに考慮する必要がある。
藤江	総合計画のことについて、少し分かった。基本構想は20年だが、5年後の目標値等を明確にすることで、具体的な取組が進むのではないかと。環境に関する目標指標・数字などを打ち出している例も増えている。	基本計画に具体的な取組、目標指標・数値を示していく。
森岡	人口減により税収は減る。高齢化や施設の老朽化により支出は増える。収支バランスがどのように変わるかなど、具体的な提示があると検討	第6次総合計画では、指標を設けて、進捗状況を管理していく。第5次総合計画では、満足度の指標もあったが、満足度調査で、施策に該当

地区	意見等の概要	回答
	しやすい。大きなビジョンがあり、目標があり、どこを重点にするのか、PDCA、指標など具体的なものがないと意見を出しにくい。現計画の満足度の達成度はどうなっているのか。	しない人の回答として「どちらでもない」が増えているため、第6次総合計画では、満足度は指標にしない方向で考えている。
森岡	第5次総合計画の反省はしているのか。課題の分析が必要である。	第5次総合計画の各施策に対する評価は行っており、審議会資料としては提示している。
森岡	人口動態（人口減）は30年前から分かっていたこと。第5次総合計画では、人口微増という長期的な視点の見込みが外れた。短い期間でできることを考えた方がいいのではないかな。	第6次総合計画では、基本計画を10年間ではなく、5年間とし、社会環境の変化に対応できるようにしたいと考えている。
森岡	東浦町周辺の市町は、全国でも財政の健全度ランキングの高い市町が多い。東浦町だけで全て解決しようとするのではなく、広域で取り組むことも考えるとよい。	衣浦定住自立圏（刈谷市・知立市・高浜市・東浦町）として協定を結び、取組を進めている。知多の5市5町での連携も進めている。
森岡	外国人の労働力も考えたい。介護士、保育士、看護師を研修生として呼び込む。若い人が増えると活気が出てくる。	県営住宅があることもあり、外国人が増えたが、労働力としての外国人の受け入れも検討していく。
森岡	第6次総合計画では、何に最も力を入れるのか。	総合計画は、一部の分野に偏ることのない総合的な計画になるが、施策の内容によって力の入れ方が異なる。早期に着手するもの、長期的に取り組むことのメリハリをつけていきたい。
森岡	計画をつくるにあたって、住民が元気になる「よし、やろう」と思える計画にして欲しい。東浦町には健康の森がある、健康体操、健診なども進んでいる。「健康年齢日本一」を打ち出してはどうか。プラス発想で考えたい。 野沢温泉では、空き地でラジオ体操をしていた。一緒にやりましょうと誘われた。このようなことが普通にできる地域はすごいと思う。地域皆で体操して元気になれるとよい。コミュニティの祭りで健康体操を披露して、地域に広めてはどうか。	東浦町70周年を記念して健康体操をつくった。保育園児が健康体操の披露をしたが、お年寄り等が座ってできる健康体操もつくった。ラジオ体操をしているクラブもたくさんある。100歳体操の取組もある。健康寿命を延ばす取組により、地域に元気なお年寄りを増やすことを総合計画にも位置づけている。
森岡	具体的に何をしていくのかが分かりにくい。	それぞれの方向性に基づく分野ごとの取組は、基本計画、実施計画に具体的に位置づけていく。
森岡	主婦が、防災や避難に関する講習を受けられる機会はあるのか。災害時、地域の役員に女性がおらず、相談しにくいと聞いたことがある。防災に関して女性も中に入れて進めないといざと	大規模災害になると役場の力だけでは対応できないことが多い。避難所の運営等、自主防災会の協力が必要となる。自主防災会に女性が参画し、女性の意見を取り入れることも大切である。

地区	意見等の概要	回答
	いう時に助けられない。	町としても会長さんと相談していきたい。必要な講習があれば、町も支援する。
森岡	「徒歩で生活できるまちの実現」をぜひ進めて欲しい。具体的な取組はあるか。	平成27年度にコンパクトなまちづくり計画をつくった。各駅を拠点にしたまちづくりを進めたい。
森岡	小中学校の熱中症対策は、計画に取り入れられているのか。各学校にエアコンを取付けるなどの案はあるのか。体力の無い小学1年生の教室だけでもエアコンが取付けられるように検討して欲しい。	現段階では、特別教室から順番にエアコンの取付けを進めている。総合計画に具体的な位置づけはしていないが、何らかの対策が必要だと考えている。

### 【その他】

地区	意見等の概要	回答
緒川	総合計画にぶら下がる計画が様々あるが、総合計画の見直しに伴って下位の計画も順次見直しをするのか。	都市計画マスタープランは今年度・来年度で策定する。そのほか個別の計画も計画期間を設定しており、順次見直しを実施する。農業振興計画の見直しを現在検討中である。
緒川新田	少子高齢化の根本原因は生物学的なものであるという説と社会的なものであるという説がある。東浦町としてはどちらを原因ととらえているか。	ライフスタイルの多様化・合計特殊出生率の低下が原因として捉えている。
緒川新田	タウンミーティングでは個々の施策よりも方向性を議論すべきである。1回のミーティングですべて議論するのは難しい。行政と住民が対話できるように。ステップに応じてこうした場を設けて欲しい。	対峙するのではなく対話していくまちづくりが重要だと感じている。今後の個別の計画策定においても住民の方の意見を伺いたいと考えている。
緒川新田	第5次総合計画には策定体制が記載されていた。庁内体制ということで第5次総合計画では策定委員会、策定部会、作業部会はあるが、第6次総合計画も第5次総合計画のような体制を示すものが良かった方がよい。	本日の資料では示していないが、組織としては全役場の職員で進めている。パブリックコメントでは基本構想・基本計画の案を出す予定であり、策定組織については出さない。要綱を昨年策定し、要綱に基づき各作業部会、策定部会等にて検討している。審議会は条例に基づき設置するものであり、職員の体制とは別である。
緒川新田	町長政策集推進計画でまちづくり（自治）基本条例の制定が書かれている。自治の仕組みを整える自治体の憲法と書かれている。今の状況はどうなっているのか。また、この条例について参考となる自治体はあるか。	まちづくり（自治）基本条例は、住民主体のまちづくりを進める中で行政と住民の役割分担をして自治の仕組みを規定するものである。条例は作ればよいものではなく、みんなで作らなければ、うまく機能しない。仕組みを整えてから条例で固めたい。条例は自治ができる体制を作った条例と

地区	意見等の概要	回答
		いう文書として残すものである。現在は自治の熟度を高めている段階であり、今年度は総合計画策定を優先させ、様子を見ながら今後作り上げていきたい。先進的なのは多治見市、県内では日進市など。
緒川新田	住んでいる人が東浦町に住んで良かったと思えることは大事だが、住民にできることと行政にやってもらわないといけないことがある。自然を守るには行政の力が必要。自然が無くなるだけでなく産業廃棄物の事業所があるところを通らなければいけないので、住みたくなくなる。事業所がある場所を、住民の生活環境と調和できる場所にするのも行政でないとできない。	住んでいる人の居心地の良さを求めるのは大切である。土地の利用については行政で考えており、無秩序な開発は防いでいく。法の規制の下で計画を進めているため、規制の範囲内であることを理解して欲しい。
緒川新田	「質問する側」「答える側」ではなく、軽い姿勢で話せる会があると良いのではないか。このような会にでもっと頻繁に話し合えるのがよいのでは。話し合いの中で住民自身が解決できる問題もあると思う。	その場で答えがあるものもあれば、地域と一緒に解決していかなければいけない問題もある。各地区の課題について多くの方と少しずつ改善していきたい。こうした機会は今後作っていきたい。
緒川新田	広報には毎月人口が表示されているが、国勢調査の結果と比べると東浦町の精度が良くないと感じる。	(回答なし)
緒川新田	東ヶ丘団地は他よりも世帯数が多い。東ヶ丘団地だけで自治が進められるのではないか。区のあり方、住民の組織のあり方を見直して欲しい。区の役員は自治会の役員でもあることがある。土日の会議等忙しく、時間的に融通の利く一部のしか役員ができない。区の役員と大きな自治会の役員を兼ねることがないようにして欲しい。	(回答なし)
生路	タウンミーティングが掲載された広報にもう少し具体的な内容(概略)などがあると興味を持って来てくれたと思う。	PR方法については、今後工夫していきたい。
生路	まちづくり実行委員会は地域の人たちから感謝されるだけでもやる気がでると思う。	やる気という面では、当事者の関心、行政のアプローチ両面の不足がある。アプローチを考えていく必要がある。
生路	南ヶ丘の若者が防災の講習に来ていたが、高齢化が進んでくると助け合わなければならないという意識を持っていた。地域をつなげていくこ	地域ごとに皆さんが協力しながら考えてもらえていると思う。行政としても手助けしたい。

地区	意見等の概要	回答
	<p>とについても情報を石浜の自治会からもらっているとのことで、連携が取れているのは良いことだと感じた。</p>	
石浜	<p>今まで石浜西地区に対してマイナスの見方をしている人が多かったのではないかと。むしろチャンスとして行政が取り組んでくれればよくなると思う。魅力の原石を磨く努力をして欲しい。東浦中学校との意見交換会やプラスバンドにも外国人の生徒が多かった。東浦町全体に広げるような努力をして欲しい。</p>	<p>○地区実態点検で県営住宅の道路について話が出たが、今までは日本人でしか話をしていなかった。取組を考えていく必要はある。</p> <p>○これから外国の方が増えていくことは予想される。日本にいても自分の文化や言葉に誇りが持てる、お互いを認め合える場を作っていかなければいけないと思う。ブラジルの武術（カポエイラ）を学ぶ場を設けたり、ブラジルの焼肉料理（シュラスコ）行ったりするなど、お互いの理解が深まる場づくりに取り組んでいかなければいけないと思う。</p> <p>○外国人との共生に関する取組については、基本計画で示している。基本構想の下の基本計画で、5つの施策の具体的な取組として学校教育や生涯学習など部門別計画を記載している。</p>
石浜	<p>行政は住民サービスだという観点で町政を進めて欲しい。住民の感覚とずれているのではないかと。</p>	<p>人と人とのつながりを重視して基本構想を作っている。</p>
石浜	<p>石浜地区には学区が二つあるが、伝達事項が複雑。地区に住んでいる人にはわかりにくい。線引きが分からない。方針を示して欲しい。コミュニティ活動も石浜地区は全て一緒になってやっている。新しいやり方が求められている。住民が考えてやって欲しいというが、勉強する場を設けてくれているので参加する必要があると思うが、出てくる人が固定化されている。</p>	<p>タウンミーティングでは東浦町全体の目指す姿を説明しているが、地区による問題は記載していない。そうしたことについてもこうした場で意見を頂きたい。</p>
石浜	<p>人口減少を緩やかにする取組として効率的な行政を挙げている中で、番号制度などが、国レベルでも行われているが将来にわたって本当に有効な制度として使えるのか疑問である。将来的には、できる人ができることをやる社会になっていくのではないかと。こうした将来に対応して、議員はより良い条例を作ったりするのが仕事であるが、自分の仕事を理解していないように感じる。</p>	<p>皆さんは、地域でそれぞれ活躍されている中で、ちょっとしたことでもやってもらえると良いと思っていることがあれば聞かせて欲しい。</p>
石浜	<p>石浜地区は他地区と比べて人口の割合が多い。町としては石浜地区をどのように考えているか。石浜地区を分離していくとすると、組織的</p>	<p>歴代の区長からも大きいという話は聞いている。石浜コミュニティとして、どのような分け方をしたら良いかという提案があれば頂きたい。なお、</p>

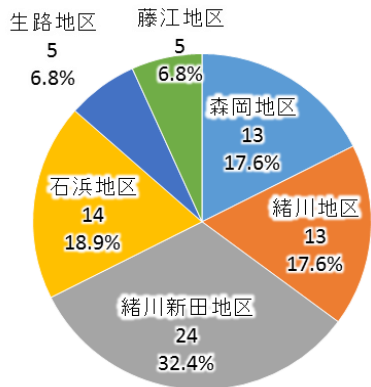
地区	意見等の概要	回答
	に複雑になる。	中央地区は区画整理でまちづくりをした場所であり分離は難しいと思っている。
石浜	総合計画のタウンミーティングではなく地区の要望になっているのでは。地区ごとに行う意味を明確にして焦点を絞って欲しい。	総合計画の現状を説明するつもりでやっているが、各地区の問題が総合計画に反映されているかについてはこの場で考えたい。
藤江	役場の説明が理解できない。文章ばかり。皆に理解してもらえるように、事例をあげるなり、グラフを入れるなりして欲しい。	本日いただいたご意見をもとに、分かりやすい説明、資料づくりに努めたい。
森岡	昨年度、会議やWSに参加したが、ざっくばらんな会議で楽しかった。子育て世代が町に意見を言える場が少ないので、そのような場をつくってもらいたい。	今年度は、中学生から29歳までを対象とした「若者会議」を開催している。今後、世代別のWSなども考えていきたい。
森岡	それぞれが主体的に動くためには、町と地区とのやりとりの場がもう少しあるとよいと思う。	町としても考えていきたい。
森岡	パブリックコメントでは、もう少し計画の詳細を知ることができるのか。具体的な部分が見えると意見が出やすいと思う。	これまでの総合計画審議会の内容等についてもホームページに掲載している。

### 3. 参加者アンケート

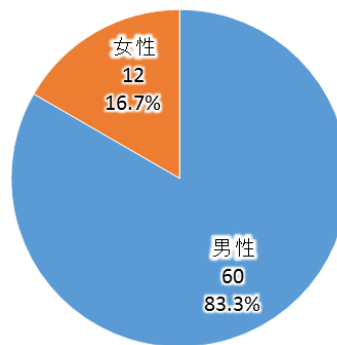
参加者全員に対しアンケート票を配布し、74 票回収した。

【集計結果（未回答は除く）】

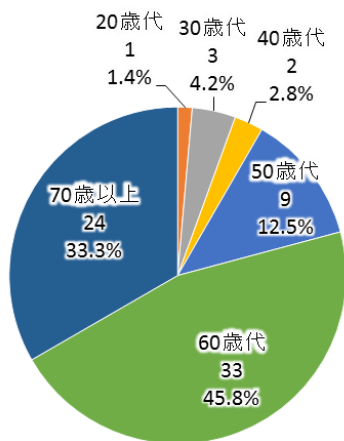
問1 お住まいの地区はどこですか。



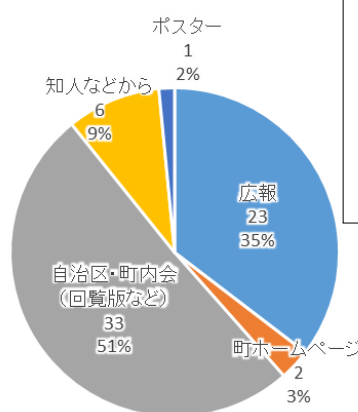
問2 性別を教えてください。



問3 年齢を教えてください。



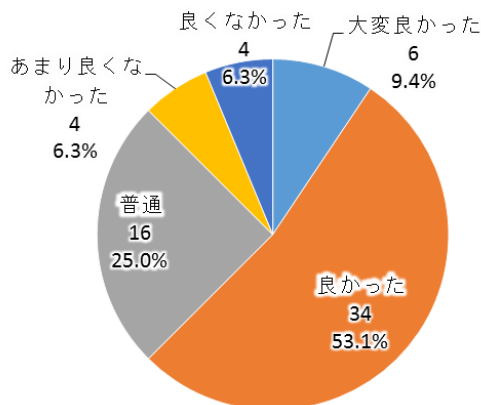
問4 今回のタウンミーティングを何で知りましたか。



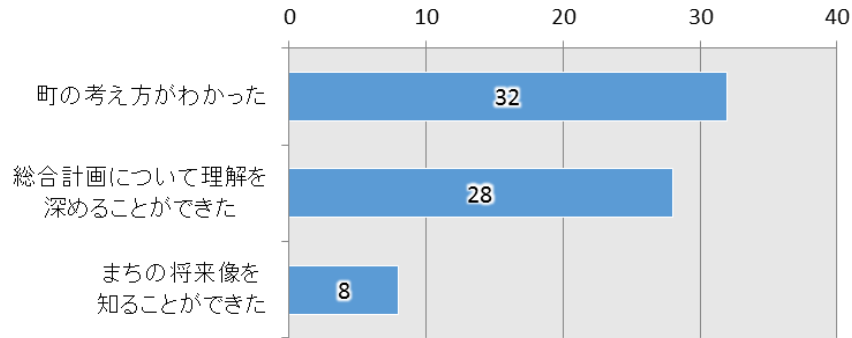
- 【その他の意見】
- ・自治会
  - ・コミュニティ行事（部会、盆踊り練習会）等での宣伝
  - ・イオン内の広告
  - ・町長ブログ
  - ・地区のチラシ

問5 タウンミーティングの感想についてお聞きします。

① 参加して良かったと思いますか。良くなかったと思いますか。



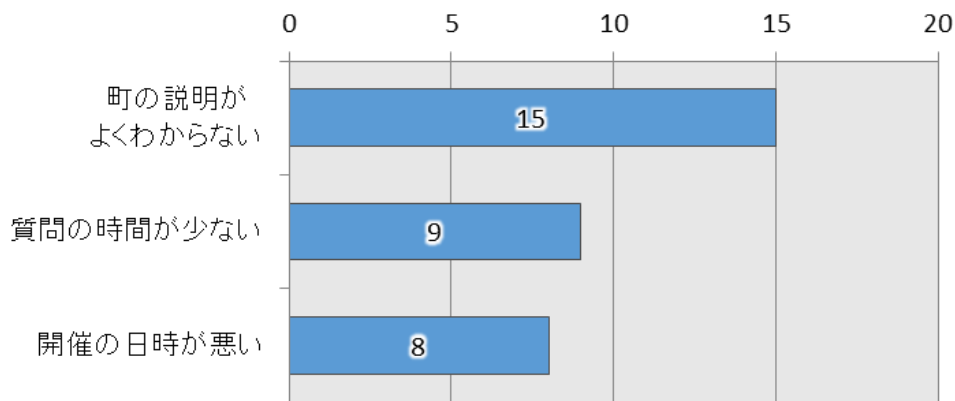
② 参加して良かったと思う点は何ですか（複数回答可）。



【その他の意見】

- ・色々な住民の考えが聞けた。
- ・始めてこういう場に参加したので、こういう会の内容を知ることができた。
- ・地域の方々の考えを知ることが出来た。
- ・色々な方の意見が聞けた事。

③ 参加して良くなかったと思う点は何ですか（複数回答可）。



【その他の意見】

- ・話す内容が分かりにくかった。
- ・詳細な説明がない。
- ・事前に資料が出ているともっと活発な議論ができると思う。
- ・かたい雰囲気で話しにくい。
- ・特定の質問者のくどい質問にうんざり。
- ・配付資料がタウンミーティングの目的にあっていない。
- ・「計画」の方向性がわからない。
- ・質問に対する資料が少なすぎた。
- ・参加者が少なかった事。
- ・結果がわからない。
- ・ミーティング時間が少ない。
- ・主要施設の方向性はよくわかったが、具体的な目標の姿が見えてこない。  
もう少し、こうしたいとのコメントがほしかった。
- ・町としての策が見えない。町としての活動が不明。
- ・定量的・具体的な情報が少ない。
- ・資料が資料になっていない。まだまだ他人事感がある。
- ・だいたい同じ顔ぶれ、もっと広く一般の方の参加を。
- ・もう少し細かく内容を確認したかった。
- ・止むを得ないかもしれませんが、一般的な説明内容だった。
- ・詳細な具体的な対応策がわからなかった。



問6 その他、タウンミーティングについてご意見・ご質問等ありましたらご記入ください。

■タウンミーティングの進め方等について (16件)

● 事前に計画案についての資料が欲しい。
● 具体的な話が出せるような会が必要だと思います。
● みなさん意見を言い合えるようなまち、タウンミーティングができると良いまちづくりにつながりますね。
● もっと個別の資料等に基づいて質問をするミーティングをやってもらいたい
● 質疑のやりとりをリアルタイムで表示して頂きよかった。
● 質問・回答などが目に見えて画像になり、理解がしやすい。各担当者の答えも聞きたかった。
● 参加者の少なさに反省しています。盆踊り練習会(2日間)が開催されましたが、その際、参加者に紹介しましたが、どんな会であるかがうまく伝わらなかったと思っています。本日配布の資料を見ますと、これまでのレベルのものでなくて、ダイジェスト版の資料を事前にいただけるともっと強く参加を促すことが出来たのではないかと思います。広報の記事も内容があまりわからなかったと思います。本当に申し訳ありませんでした。
● 人数が少なかった。これも意味があったかな。
● 説明が長すぎて疲れた。
● 100ページに及ぶ総合計画であれ、一部の具体例は今回発表するべきではないか。今回のようなものは意味がないと思う。時間の無駄。町として何に力を入れるのか。
● 文字だけの資料で、短時間では内容を理解しきれないため、有効な意見が出せませんでした。→「意見・感想が聞きたい」のであれば、それに見合う資料を用意すべきだと思います。後半の「主要施策」について、書かれている事は正しいと思いますが、内容が抽象的すぎて、具体的にどうしていこうとしているのかが見えません。来年度からスタートさせるのであれば、もう少し具体的なものを示して議論すべきと考えます。
● 意見を出したら、すぐ返答をいただけてとっても良かったです。総合計画がわかりやすかったです。タウンミーティングに参加できて良かったです。
● 町HP「総合計画、策定中です。」で、住民の意見や計画の周知を図れるのであれば、更新をするべきでは。2018.2.22で止まっている。「基本計画の詳細はHPで」と答えるのであれば、そこにも配慮を。審議会の会議録も含めて、同じページに掲載をお願いしたいです。会議開催告知ももっと早く行うといいのでは。1週間前ではなく、3週~1ヶ月前で、もしかしたら平日勤務の方も休みをとって傍聴に来るかもしれません。
● 人口減少への施策の具体的対策を知りたい。総合計画を読み直して、パブリックコメントに意見を提出したいと思います。
● タウンミーティング趣旨が不明。総論、各論等それぞれに合った討論が必要。ミーティングする対象者に合わせた内容にして欲しい。
● まるなげはだめよ。例を挙げるなり、方策を選ぶなり、何か情報がないと一般の人はわからない。

■まちづくり全般・まちづくりの進め方等について（12件）

● 少子高齢化社会の根本原因を町としての見解を示していただきたい。
● 1. 20年計画といいながら、長期として10年後を扱っている。20年後の姿をどう想定しているのか。これをベースに今後町としてどうしていくのか、計画の裏づけが欲しい。 2. 若い人（30代）の参加が欲しい。30+20=50才が地域の主力年齢。若い年代の人に参加してもらいたい。タウンミーティングに参加して頂きたい旨を若い年代にPRしてもよいのではないか。
● 基本的な事がわかりました。地区（コミュニティ）、学区についてしっかりと区切りを考えて進めて欲しい。
● 勤労会館や文化センターの建物は外観がヒビ割れ等でみすばらしい感じがする。外回りだけでもきれいにしてはどうかと思います。
● まちづくりは楽しんでやるもの、わくわくするような事業計画を。
● こんな会議に色々の団体の人が来てもらうと、大要的な町の方針がわかると思います。合言葉的な、健康施設にめぐまれている健康なまち。
● 絵に描いた餅にならないように、具体的な事を考えて欲しい。
● 行政の努力が感じられて良かった。
● サービスと費用負担が問題だ。無駄のないサービスを望む。
● 町が発展し、住みやすい環境になるように、良い計画を策定していただきたい。
● 町のみんなとコミュニケーションをとるために、婦人会等があるのは良いと思うが、町民が、子育て、介護等と忙しいので、このような団体を減らしたり、イベントを減らすと良いのではないかと考えます。少子高齢化が進む中、税収も減ってくると思います。町民全体の立場を考えながら、税金の使い道・使い方をして頂きたい。今後、人口減少で、マンション等含めた空き家（部屋）が増えるので、その点を考慮して、マンション建築の誘致を考えて欲しい。
● 伝える方法について、多い意見が出ましたね。

## ■各施策に関することについて（8件）

<ul style="list-style-type: none"><li>● 少子化対策で2人目は1人目と同時に保育園に在園していると無料～半額といった制度があるかと思えます。（私が子どもを保育園にあずけていた時はそうでした。）我家は姉弟が同時に在園することはなかったので全く関係ありませんでしたが、それで本当に少子化対策になるのかと思っていました。健康上や年齢的になど、様々な理由で子どもが1人しかもてない人もいます。全ての家庭、全ての子どもに少しずつで良いので対策を考えていただけたらうれしいです。たくさん産んだ人がすばらしいともとれるような対策は安易すぎます。子どもの医療費も無料で助かっています。でも、人間無料はだめになります。100円でも200円でも支払う方が個人的にはよいと思っています。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>● 住みやすくあって欲しい（町の活性化）。交通の利便性をあげて欲しい（名鉄、高速道路等）。今後も参加していきたい。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>● 人口減少時代に入るといって、増やす努力をしないといけないのではないかと。特に農業人口に歯止めをかけ、増加に転じる努力をしてはと思うが。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>● 人口減少が中心になってしまった感じ。労働環境を良くしないと、住民が自発的参加は難しい。外国人が多いのは県営住宅があるおかげ。民間住宅でも外国人が入りやすくすれば、もっと増えるはず。外国人との交流の必要性も高まるはず。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>● ブロック塀の状況把握はどうか。南海トラフの防災対策について、具体的な立案が出ているのか。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>● 三世代同居できる環境を整備して欲しい。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>● 人口減少問題、増やしたいのか、減らさないようにしたいのか、少子、子どもを産んで育てていくことに幸せを感じるには、どんなことをしていったらいいのか。年齢を止めるわけにはいかないで、病気がなく、もしくは病気と上手に付き合っていくには。徒歩圏内、健康でなければ難しい。動けなくなってきた時の移動手段は。どれもみな関連付けての計画を。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>● P11、「あるものを生かした町づくりに関し」について、放干農地、休耕田がたくさんあります。有効活用を考えては。町の考えている事をもっと話して欲しい。</li></ul>

#### 4. 開催の様子

【緒川地区】



【緒川新田地区】



【生路地区】



【石浜地区】



【藤江地区】



【森岡地区】

